

平成 28 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①社会で活用できる基礎・基本的な学力の定着と、他者と関わるための力の習得を目指し、きめ細やかな学習指導を行う。</p> <p>②育てたい生徒像の実現に向けた教育課程の再編成を行う。</p>	<p>①1学年の科目を中心に、生徒の学習課題を把握し、効果的な指導方法や教材を研究する。</p>	<p>①1学年の授業を複数教員体制で実施し、生徒の状況把握と指導方法や教材の研究を行う。また、TTや小集団学習を積極的に実施する。</p>	<p>①1学年の教材について改善が図られたか。</p> <p>①TTや小集団学習について、計画の立案や実施後の検証を行ったか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①モラル・マナー・ルールを遵守する心を育成し、高校生として良識ある行動ができるように、規範意識と生活習慣を身につけさせる。</p> <p>②生徒が安心して活動できるための支援体制の充実を図るとともに、コミュニケーション力を育成する。</p>	<p>①教職員間で指導方針の共有を図り、足並みの揃った指導を行う。</p> <p>②SC及びSSWを活用した支援体制の構築を図る。</p>	<p>①新着任者・非常勤講師との指導方針の共有を徹底し、巡回・集会を効果的に活用する。</p> <p>②SC、SSW拠点校として、相談体制のあり方を検討する。</p>	<p>①指導方針の共有のための工夫を行い、全教職員が共通した指導を行えたか。</p> <p>②SC、SSWを活用したケース会議や相談を、平成27年度より多く実施できたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりが将来設計を考え、進路決定できる力を育成するとともに、進路実現を可能とするために、計画的かつ系統的な指導・支援体制の充実を図る。</p>	<p>本校に必要なキャリア教育を教職員全体で考え、新しいキャリア教育実践プログラムを策定する。</p>	<p>総合的な学習の時間やLHR、NPOとの協働事業を活用したキャリアプログラムを検討する。</p>	<p>総合的な学習の時間やLHRにおいて、キャリアプログラムを実施できたか。NPOとの協働事業で新規のキャリアプログラムを導入できたか。</p>					
4 地域等との協働	<p>学校からの情報発信を積極的に行うとともに、家庭・地域社会との連携や交流を推進し、地域に愛される学校づくりを推進する。</p>	<p>これまでの地域との連携や交流を継続・発展させ、積極的に広報するとともに、新しい地域との連携について追求する。</p>	<p>例年の地域との連携・交流への生徒への参加を積極的に勧めるとともに、新たな体験やインターンシップまたは地域貢献などの開拓を行う。</p>	<p>地域との新しい連携・交流を開拓できたか。</p> <p>ホームページやその他の手段で、平成27年度より積極的に情報発信できたか。</p>					

5	学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事の防止を徹底するとともに、防災意識を高め、安全教育を推進する。</p> <p>②いのちを大切に する心、いじめ を許さない心を 育む教育を推進 する。</p>	<p>①夜間定時制としての防災体制の改善を図る。</p> <p>②「共生・いのち・生きる」の新しい実施方法や内容を研究・実践する。</p>	<p>①夜間における災害発生に備えた体制作りや訓練を行う。</p> <p>②「共生・いのち・生きる」と教科の内容との関連付けを図る。</p>	<p>①新しい防災の取り組みが実施できたか。</p> <p>②授業において「共生・いのち・生きる」を実施することができたか。</p>					
---	--------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--